

「宇治学」副読本

命 そして「ふるさと宇治」を守る

～私たち中学生としてできること～



7 年

中学校第1学年

宇治市教育委員会

さあ中学校の「宇治学」の学習を始めましょう。

みなさんは小学校の「宇治学」で「ふるさと宇治」について学び、考え、さまざまな方法で発信してきました。中学校では、より深く自分で調べたいことについて探究的に学習します。「『ふるさと宇治』のために、私たち中学生にできることは何だろう」といった視点で、小学生よりさらに一步踏みこんだ「宇治学」の学習が待っています。みなさんは、「ふるさと宇治」の未来を担う大切な一人です。みなさんが調べ、考えた内容は、学校内にとどまらず、一般市民の方など、より多くの方に発信してほしいと思います。

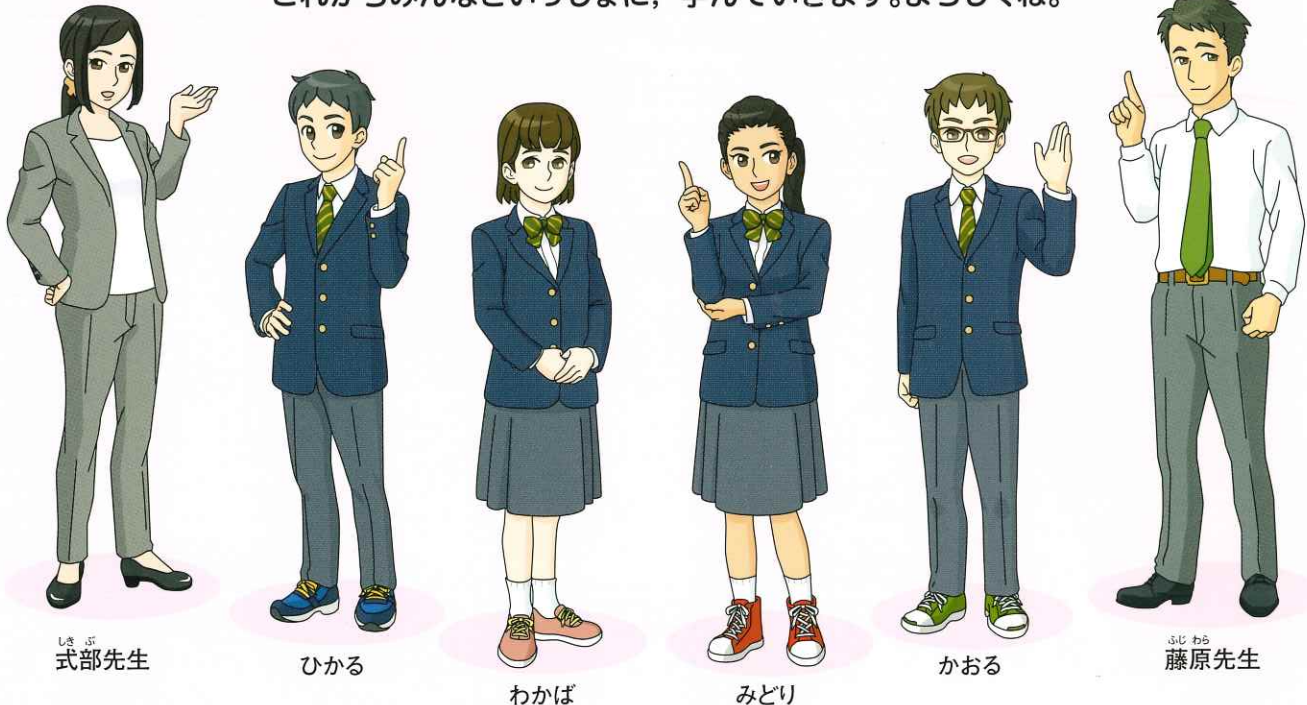
7年生の「宇治学」のテーマは「防災」です。近年日本の各地で、地震や津波、豪雨などによる災害が頻発しています。今後、私たちの「ふるさと宇治」がこのような災害に見舞われない保証はどこにもありません。ひとたび災害が起きたとき、自分の命を守ることはもちろんですが、地域を守る貴重な存在が、みなさん中学生なのです。そのために今、中学生にどんな準備や訓練などが必要なのか、この「副読本」を使って学び、考えてください。君たちの視野を個人から学校・地域に広げ、「私たち中学生もこの『ふるさと宇治』を守るんだ」という気持ちで学習を進めてください。

「防災」については、知識として理解しておくべきことがたくさんあります。しかし、想定外の大災害への備えには、実践や体験を通して想像力を働かせることが大切です。この副読本に掲載されているようなさまざまな体験から得た多様な見方・考え方を、思考ツールを活用するなどして大いに交流し、色々な考え方があることを認め合い、みんなで協力できる「中学生ならではの」提案が生まれることを期待しています。

「防災」をテーマに学習をしたみなさんが、災害時に自分の身を守ることができるだけでなく、「ふるさと宇治」の人々のために役立つ行動ができるようになることを願います。

「命 そして『ふるさと宇治』を守る～私たち中学生としてできること～」
さあ、学習の扉を開きましょう。

これからみんなといっしょに、学んでいきます。よろしくね。



目次

■ 命	そして「ふるさと宇治」を守る～私たち中学生としてできること～	2
① 命	そして「ふるさと宇治」を守るには？	
	避難所生活を体験しよう	4
	日本で起こることが予想される自然災害	6
	近年の大災害	8
	「ふるさと宇治」で起こることが予想される自然災害	10
	ハザードマップを知ろう	12
	フィールドワークで避難経路を確認しよう	14
	災害発生時の避難行動	16
	避難所ではどんな生活をするのだろう	18
	避難・避難所生活と復興	20
	災害に備えて①～自助の視点から～	22
	災害に備えて②～共助・公助の視点から～	24
	課題を設定しよう	26
② 私たち中学生にできることを調べよう		
	情報を収集するために	28
	情報を収集しよう①	30
	情報を収集しよう②	32
③ 私たち中学生にできることを考えよう		
	整理・分析をしよう	34
④ 私たち中学生にできることを伝えよう		
	工夫して発信しよう	36
■ 学習のまとめをしよう		37
■ 資料		38
	・ 苦しみを乗り越え 感謝の気持ちを力に	
	・ 避難情報標識, 避難誘導標識, 避難場所情報標識	

宇治市宣伝大使 ちはや姫

宇治市宣伝大使の「ちはや姫」です。
 名前は宇治の枕詞の「ちはやぶる」から名付けられました。宇治の魅力を
 全国のみなさんにもっと知ってもらいたいと思い、日々活動しています。
 この副読本では、みなさんの学習のお手伝いをします。



① 探究学習をすすめるための
ポイントが書いてあります。



① とても大切な言葉です。しっ
かり身に付けましょう。

命 そして「ふるさと宇治」を守る

～私たち中学生としてできること～

日本では、さまざまな災害が起こっています。私たちの「ふるさと宇治」も例外ではありません。もしものときに命を守り「ふるさと宇治」を守るために、私たち中学生に何ができるのか、これからの学習を通して考えていきましょう。



①安全神話が崩壊した阪神・淡路大震災
1995年（平成7年）

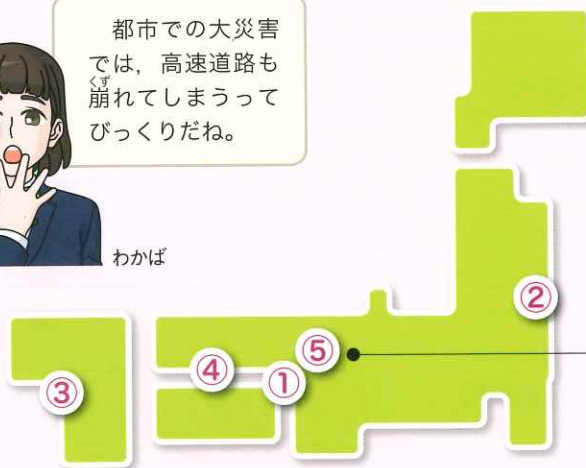


②想定を遥かにこえた東日本大震災
2011年（平成23年）



都市での大災害では、高速道路も崩れてしまうってびっくりだね。

わかば



宇治の大きな災害の歴史

- 慶長伏見地震
1596年（慶長元年）
- 南山城水害
1953年（昭和28年）



私たちの「ふるさと宇治」でも大きな災害が起きているんだね。

かおる



③震度7が2回も！熊本地震
2016年（平成28年）



④深夜に発生した広島土砂災害
2014年（平成26年）



⑤宇治市でも集中豪雨
2012年（平成24年）＜槇島地区＞

避難直後の生活



人であふれかえる避難所



給水車には長蛇の列

避難所生活って想像以上に大変そうだな。



みどり

避難のときや避難所で、私たち中学生も何か役に立ちたいよね。



ひかる

災害に強い、被害を最小限に抑えるための対策が進められています。

減災の取り組み



校舎の耐震工事<西宇治中学校>



洪水を防ぐ河川の護岸工事<志津川>



市や町内会主催の防災訓練<宇治市の防災訓練>



災害に備える家族会議

日頃から災害への備えや災害が起こったときの行動などについて、家族会議などで話し合っておきたいです。



1

命 そして「ふるさと宇治」を守るには？

避難所生活を体験しよう

避難所ではどのような生活をするようになるのか、実際に体験することで考えていきましょう。



避難所も いろいろあるよ！

●一時集合場所

近所の集会所や公園・空き地など一時的に集合して様子を見る場合、または避難者が避難のために一時的に集団を形成するための集合場所として、地域の自主防災組織などが決めておく。

●指定緊急避難場所

想定される災害に対して安全な構造を有する施設、または周辺に災害が発生した場合に人の生命および身体に危険をおよぼす恐れがある物がない場所であって、災害発生時に素早く避難場所の開設を行うことが可能な管理体制などを有するところが指定される。

●指定避難所

被災者が滞在できるだけの規模を有し、すみやかに被災者を受け入れることができる構造や設備を有する施設で、想定される災害による影響が比較的少なく、災害救援物資などの輸送が比較的容易な場所にあるところが指定される。また、指定緊急避難場所と指定避難所は兼ねることができる。

●その他避難所

災害がある程度落ち着いても、なお引き続き避難を必要とする場合、中長期的な避難所として位置付けられるところが指定される。

●福祉避難所

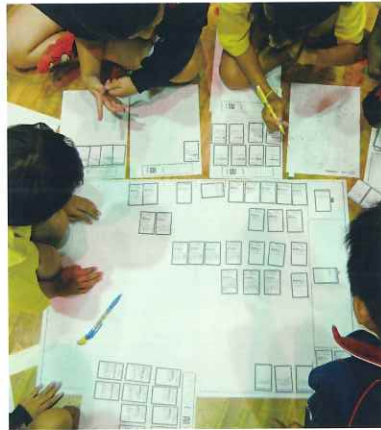
「特に配慮が必要な人たち」が、避難生活をおくることができる施設で、協定を結んでいる福祉施設のほか、一般の避難所に福祉避難コーナー（ガイドラインに基づいたスペース）を確保したスペースが指定される。

避難所は、自宅に住むことができなくなった被災者などを、一時的に受け入れ、保護するための場所です。

宇治市では、公共施設などの建物の中から、指定緊急避難場所・指定避難所・その他避難所・福祉避難所が設置されます。

過去の大震災で学校などを避難所として被災者が生活する様子は、新聞やテレビなどで伝えられ、私たちも想像することができます。しかし、避難訓練は経験していても、避難所での生活を実際に経験した人は多くありません。

そこで、実際に宇治市が備蓄している資材などを用いて、避難所での生活を体験してみましょう。



① HUG(避難所運営ゲーム)をする生徒たち



② 毛布で作った簡易担架を体験する生徒たち



③ 配給されたパンをトラックから運ぶ体験をする生徒たち

熊本地震では、実際に避難所が被災しました。そのため、急遽、熊本学園大学が避難所として使われました。





① 簡易間仕切りを組み立てる生徒たち



② 体育館で、簡易間仕切りを設置する生徒たち



③ 宇治市の簡易間仕切り

そもそも全ての人が間仕切りを使うことは難しいから、ほかの方法でも体験しておきたいな。



みどり

実際に寝転んでみると、何日も過ごすのは大変だって思ったよ。



かおる

給水車から水を運ぶのは、私たち中学生が活躍できるよね。



ひかる

簡易トイレは置き場所とか、処理の方法とか、いろいろ考えないといけないね。



わかば



④ 宇治市の簡易トイレ



⑤ 宇治市の災害救助用毛布



⑥ 宇治市の給水車



⑦ 宇治市の備蓄品

市の備蓄品は、一人一つずつ割り当てられるとは限りません。これからの学習で日常の備えについても考えていきましょう。



日本で起こることが予想される自然災害

日本で起きた自然災害を知り、今後起こることが予想される災害の危険性について考えましょう。



自然災害とは

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火その他の異常な自然現象により発生する被害をいう。

【被災者生活再建支援法より】

近年大きな被害を与えた台風

(死者・行方不明者数)

- 1959年(昭和34年)
伊勢湾台風 5,098人
- 1991年(平成3年)
台風19号 62人
- 2004年(平成16年)
台風18号 46人
台風23号 98人
- 2011年(平成23年)
台風12号 98人
- 2013年(平成25年)
台風26号 43人

伊勢湾台風以降は、防災体制、気象観測施設、設備などの充実や、予報技術の向上、災害情報伝達手段の発展と普及などにより、死者・行方不明者が著しく減少しました。



日本は、外国に比べて台風、大雨、大雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火などの自然災害が発生しやすい国土であることを、みなさんは知っていますか。日本の国土の面積は全世界のたった0.28%しかありませんが、全世界で起こったマグニチュード6以上の地震の20.5%が日本で起こっており、全世界の活火山の7.0%が日本に存在しています。



暴風による倒木

2014年(平成26年)

大雪、暴風で木が倒され、県道26号気仙沼唐桑線は通行止めになりました。



大雨による北海道の野菜被害

2016年(平成28年)

記録的な大雨でジャガイモが不作となり、翌年には一時期店頭からポテトチップスが姿を消しました。



大雪による車の立ち往生

2009年(平成21年)

山形県鶴岡市では除雪が追いつかず、スリップして立ち往生する車両により、あちこちで渋滞が見られました。



鬼怒川の堤防決壊による洪水

2015年(平成27年)

関東・東北豪雨で茨城県常総市の鬼怒川が決壊し、多くの家屋が流されました。



広島土砂災害

2014年（平成26年）

局地豪雨により未明に各所で多数の土石流や崖崩れが発生し、74人が死亡しました。



震災による火災

1995年（平成7年）

阪神・淡路大震災から一夜明けても、煙が上がり続けていました。



津波で壊滅した南三陸町防災庁舎

2011年（平成23年）

東日本大震災の津波により、一瞬にして変わり果てた姿となってしまいました。



鹿児島市桜島の噴火

2012年（平成24年）

鹿児島市街地に大量に降った火山灰により、昼間でも薄暗く、雨でもないのに皆、傘をさす状況が続きました。



つくば市で発生した竜巻による被害

2012年（平成24年）

強烈な竜巻が発生し、またたく間に軽自動車が無に舞い、住宅の上ののってしまいました。



雷雨

2008年（平成20年）

強い降雨とともに仙台市の上空に雷が発生しました。

主な火山災害

年	火山名	犠牲者(人)
1783	浅間山	1,151
1792	雲仙岳	約15,000
1888	磐梯山	461
1914	桜島	59
1926	十勝岳	144
1958	阿蘇山	12
1991	雲仙岳	43
2014	御嶽山	63

※犠牲者数は、死者と行方不明者をふくみます。（気象庁）

噴火警戒レベル

レベル5	居住地域避難
レベル4	居住地域避難準備
レベル3	入山規制
レベル2	火口周辺規制
レベル1	活火山であることに留意

竜巻注意情報

2006年（平成18年）9月に宮崎県で3人、11月に北海道で9人が竜巻で死亡したことを契機に、2年後の3月から運用が開始されました。

2016年（平成28年）12月15日からは、天気予報と同様に府県単位を数ブロックに細分化した区域ごとに発表されることになりました。

竜巻は局所的に発達するため、正確な予報は難しいです。

① 命 そして「ふるさと宇治」を守るには？

近年の大災害

高度に発達した現代社会では、大地震が発生したら、どんな状況になるのでしょうか。多くの人命が失われた近年の大災害を例に、考えていきましょう。

阪神・淡路大震災

人的被害	死者	6,434人
	行方不明者	3人
	負傷者	
	重傷	10,683人
	軽症	33,109人
	計	43,792人
住家被害	全壊	104,906棟
	半壊	144,274棟

<2006年（平成18年）5月19日 確定報>
総務省消防庁



ライフラインとは

命綱、生命線という意味の言葉で、電気・ガス・水道など、私たちの生活に欠かせないもののことです。

高速道路や新幹線、原子力発電に対する安全神話が、被害を大きくさせてしまったのです。



ボランティアによる多様な支援は、被災者にとって、大きなはげましになりました。



阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）

1995年（平成7年）1月17日午前5時46分、淡路島北部を震源にマグニチュード7.3の直下型地震が発生し、神戸市などで震度7を記録したこの地震を兵庫県南部地震といい、地震による被害を総称して「阪神・淡路大震災」と呼んでいます。この地震では、木造家屋の倒壊や家具の転倒が、人的被害を大きくしました。



〈安全神話の崩壊〉

この地震までは、日本の道路などは耐震性が強いといわれていましたが、高速道路や新幹線の橋脚がもろくも崩れ落ちる大惨事となりました。

〈ボランティア元年〉

被災者を支援するために、ボランティアに参加した人は3か月で延べ117万人ともいわれています。

この災害でボランティアの重要性が認識されたことから、日本における「ボランティア元年」といわれています。

〈都市におけるライフラインのもろさ〉

ピーク時で停電が約260万戸、ガスの供給停止が約86万戸、水道の断水が約130万戸、電話の不通が約30万回線となりました。

「奇跡を起こしたあきらめない心」

水口福弘さん（神戸市在住 / 被災当時60歳）

1階の寝室でぐっすり寝ていたところ、大きな揺れで目が覚め、普通の揺れではないと直感したとたん、倒壊した家とタンスの下敷きになりました。そのとき妻は外出していて難を逃れましたが、私は生き埋めに。顔はつぶされず、天井板との間にわずかに隙間があったため息はできたのですが、全く身動きがとれません。

そのうち、下半身の感覚がなくなり全身が燃えるように熱く、頭が割れるほど痛く、眼球が飛び出しそうになり、このまま死んでしまうのかと覚悟しました。しかし、家族や親戚や別居している老親、職場のことを思い浮かべ、このまま死ぬわけにはいかない、どうせ死ぬなら最後まであきらめないぞと、残された力をふりしぼり天井板を指で突き破り、指を突き出すと偶然人の手にあたったんです。数分遅かったら、意識を失って死んでいたことでしょう。絶対にあきらめない心が奇跡を起こしたんだと思います。（『東京防災』73ページより）

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

2011年（平成23年）3月11日14時46分、三陸沖を震源にマグニチュード9.0という、観測史上国内最大規模の地震が発生しました。世界でも1900年以降では4番目の規模でした。

〈想定をこえる規模〉

気象庁によると、震源域は長さ約450km、幅約200kmにわたると解析されました。国は、三陸沖中部、宮城県沖、三陸沖南部海溝寄り、福島県沖、茨城県沖、三陸沖北部から房総沖の海溝寄りの6つの領域で個別に起こる地震、または宮城県沖と三陸沖南部海溝寄りの連動による地震を想定していました。ところが、これら全ての領域が連動して発生する想定外の大地震となりました。

〈大津波の発生による甚大な被害〉

記録されている最大潮位は、福島県南相馬市の9.3m、津波の遡上高は、国内観測史上最大となる40.5mとなるなど、日本各地で大きな津波が観測されました。このため岩手県、宮城県、福島県を中心に人的被害、住家被害が、また、インフラ、ライフラインにも極めて甚大な被害が発生しました。



©防災システム研究所



©City of Sendai

〈原発事故の発生〉

この地震の発生に伴い、東京電力福島第一、第二原子力発電所が被災し、発電所内施設の損傷にとどまらず、放射性物質が外部へ放出される事態に至りました。そのため、同発電所周辺住民の避難や、農作物の出荷制限などの被害が発生しました。平成29年4月現在、10万9千人の方が避難しています。

熊本地震

2016年（平成28年）4月14日21時26分と16日1時25分に熊本県熊本地方を震源にマグニチュード6.5と7.3の地震が発生し、西原村と益城町では震度7を観測しました。マグニチュード7.3は阪神・淡路大震災と同規模の大震災であり、内陸型（活断層型）地震でマグニチュード6.5以上の地震の後にさらに大きな地震が発生するのは、地震の観測が日本で開始された1885年（明治18年）以降で初めてのケースでした。



©防災システム研究所

東日本大震災

人的被害	死者	19,533人
	行方不明者	2,585人
	負傷者	6,230人
住家被害	全壊	121,768棟
	半壊	280,160棟

<2017年（平成29年）3月8日 現在>
総務省消防庁



津波の遡上高とは

海岸から内陸へ津波がかけ上がる高さのことです。津波の高さと同程度から、高い場合にはその4倍程度にもなります。

インフラとは

産業や生活の基盤として整備される施設のことです。道路・鉄道・上下水道や学校・病院・福祉施設などです。

被災地域における直接的被害額

阪神・淡路大震災 9.6兆円
東日本大震災 16兆～25兆円

熊本地震

人的被害	死者	211人	
	行方不明者		
	負傷者	重傷	1,142人
		軽症	1,604人
	計	2,746人	
住家被害	全壊	8,682棟	
	半壊	33,660棟	

<2017年（平成29年）3月14日 現在>内閣府

「ふるさと宇治」で起こることが予想される自然災害

私たちが住む「ふるさと宇治」も、過去をさかのぼると、多くの災害にみまわれています。「ふるさと宇治」に起きた過去の自然災害をふり返り、これから起こることが予想される自然災害について考えてみましょう。

京都の地震災害

年月日	マグニチュード	被害
938年 (天慶元年) 5月22日	7.0	宮中の内膳司が崩れ死者4人。堂塔、仏塔の多くが倒れる。
1185年 (文治元年) 8月13日	7.4	社寺、家屋の倒壊多く、死者多数。宇治橋が落ち、死者1名。9月まで余震が続く。
1596年 (慶長元年) 9月5日	7.0~ 7.25	伏見の天主大破、約600人圧死。諸寺民家の倒壊、死傷多数。奈良町(六地藏)でも京都、伏見に匹敵する被害あり。
1995年 (平成7年) 1月17日	7.3	「阪神・淡路大震災」最大震度7、京都では震度5。宇治市の被害は一部破損住宅253棟、文教施設18件

京都の被害地震(理科年表)より

地震の歴史

「有馬・高槻断層帯」の活動による「慶長伏見地震」が1596年(慶長元年)9月5日に発生しました。この地震では、東寺、天龍寺、大覚寺などの社寺や多くの民家の倒壊により死傷者が多数発生するなど、京都を中心に大坂(大阪)、堺、兵庫にかけての大災害となりました。

豊臣秀吉の居城であった伏見の天守閣も大破し、約600人が圧死するなどの被害もでたといわれています。

水害の歴史

宇治市の中央部は、山間部から流れ出た宇治川がつくった丘陵地に位置し、西部は、この宇治川や木津川が流れこむ巨椋池を干拓した低地です。こうしたことから、宇治市の自然災害の歴史は、台風による暴風雨や梅雨前線などによる集中豪雨などを原因とする水害や土砂災害の歴史でもあります。

〈昭和28年災害〉

1953年(昭和28年)8月14日夜半から15日未明にかけて京都府南部地域を襲った集中豪雨により、被災家屋約5,700戸、300人以上の方が亡くなる大規模な土砂災害が発生しました。宇治市では、隠元橋(木造)が流失したり、名木川堤防が300mにわたり決壊したりするなどの被害がありました。(「南山城水害」といいます。)



①「昭和28年災害」
横島町三軒屋の旧24号線と旧奈良街道交差点

さらに、9月25日には「台風13号」により、宇治川、淀川、木



①「昭和28年災害」小倉町西山の奈良電の線路(現在の近鉄)



あまがせ
天ヶ瀬ダムは「昭和28年災害」を機に、治水や利水などの機能を兼ね備えた多目的ダムとして、1964年(昭和39年)に完成しました。

津川、桂川などの大河川が決壊や氾濫し、各地で浸水被害を引き起こしました。宇治市でも1,035戸の浸水被害に遭うなどの大きな被害が記録されています。この「南山城水害」と、9月に発生した「台風13号」による被害の2つの災害を「昭和28年災害」と呼んでいます。

〈京都府南部地域豪雨災害〉

近年では、2012年（平成24年）8月14日未明に弥陀次郎川の堤防が約25m決壊したほか、複数の中小河川で氾濫や溢水が同時多発的に発生しました。志津川では増水により民家が流され、2名の方が亡くなりました。市内各地でも浸水被害、土砂災害による床上・床下合わせて2,075件の浸水被害を引き起こす大きな災害となりました。

また、2013年（平成25年）9月の台風18号による豪雨では、京都府に全国で初めての特別警報が発表され、宇治市でも半壊1件、床上浸水22件の被害がありました。



① 弥陀次郎川の堤防が決壊し、住宅地に川の水が浸入し、家屋が浸水



② 幹線道路も豪雨により浸水

予想される「ふるさと宇治」の自然災害

南海トラフ沿いで、今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの地震が発生する確率が70%程度といわれており、宇治市では最大で震度6強が想定されています。

また、宇治市近辺には多くの活断層があります。現在、宇治市に大きな影響を与えると考えられている活断層には、「黄檗断層」「宇治川断層」「生駒断層帯」の3つがあります。



京都府南部地域豪雨災害では、最大時間雨量78.5mm、総雨量311.0mmと宇治市では近年にない豪雨でした。

京都府南部地域豪雨災害の被害状況

人的被害	死者	2人
建物被害	全壊	31件
	大規模半壊	7件
	半壊	162件
	床上浸水	779件
	床下浸水	1,296件

2013年（平成25年）3月31日 現在

宇治市では、地震だけではなく、水害や土砂災害の想定もしていますよ。



豪雨や地震のとき、宇治川の堤防は、だいじょうぶかな？



ひかる

地震では、液状化の問題があるみたいだけれど、昔巨椋池だった地域はだいじょうぶかな？



わかば

被害を想定した資料のひとつに、ハザードマップがあります。



ハザードマップを知ろう

災害が発生したときの予測を示す宇治市のハザードマップを読み取ってみましょう。



ハザードマップは、1990年頃から作成され始め、東日本大震災をきっかけに見直されました。今後も新しい情報に基づいて更新されます。

地図だけでなく、いろいろな情報が書かれているね。

ハザードマップって初めて見たよ。



ハザードマップがあることを知らない、または見たことがない人が多い地域では、被害が大きくなった事例もあります。




ハザードマップ

ハザードマップは、地震・大雨・台風・火山噴火などにより発生が予測される被害について、種類・場所・危険度などを示した地図のことで、災害予測地図ともいいます。

宇治市のハザードマップは、『地震編』『風水害編』『総合編』で構成され、宇治市で発生することが予測される災害の被害程度、被害場所、避難所などが記載されています。

では、宇治市のハザードマップを読んで、ハザードマップクイズにチャレンジしてみましょう。

ハザードマップクイズ

- Q1 あなたの学校は、洪水・土砂災害ハザードマップで何mくらい浸水する可能性がありますか？
- Q2 洪水・土砂災害ハザードマップにある、のマークは、何を表していますか？
- Q3 暴風と呼ばれる非常に強い風（平均風速20m～30m未満）では、どのような被害が想定されますか？
- Q4 黄檗断層による地震ハザードマップ震度分布図によると、あなたの学校は、どのくらいの震度が想定されていますか？
- Q5 震度階級表によると、震度5強ではどのような状態になりますか？
- Q6 黄檗断層・宇治川断層・生駒断層帯のハザードマップで、液状化の危険がある場所には、どのような共通点がありますか？
- Q7 地震と洪水では、なぜ使用できる避難所がちがうのですか？
- Q8 避難行動要支援者とは、どのような人のことをいいますか？
- Q9 宇治市の「防災・安心情報」は、どのような情報を発信していますか？
- Q10 「避難指示」が発令されたら、あなたはどのような行動をとるべきですか？

実際にハザードマップ『風水害編』を読み取ってみましょう。

洪水・土砂災害ハザードマップの中から、自宅からの避難経路と避難所を考えることができるハザードマップを選びます。



自宅付近が、洪水・土砂災害発生時には、どんな状況になるか確認します。



近くの避難所が、洪水時に使える避難所かどうか確認します。

洪水時に使えない避難所

洪水時に使える避難所

どこに避難すればいいのか、『総合編』で調べます。



逃げ遅れたときに、避難する施設があるか調べます。



避難すべき避難所が見つかったら、自宅から避難所までの経路を確認します。



自分が避難する避難経路に、の記号がある箇所や、土石流・崖崩れなどの危険性がある場所などを確認します。



① 京都府南部地域豪雨災害



① 大雨のときは水に浸かるアンダーパス



① 昭和28年の災害での最高水位を示す表示
＜北小倉小学校＞



避難経路には、どんな危険な場所があるのか、実際に歩いて調べてみたいな。

わかば

校区だけでなく、塾の近くや、練習試合でよく行くグラウンド付近のハザードマップもチェックしておこう。

ひかる



ハザードマップに書かれていることを自分たちで実際に調べて、オリジナルの地域防災マップに表してもいいですね。



① 命そして「ふるさと宇治」を守るには？

フィールドワークで避難経路を確認しよう

自宅から避難所までの避難経路を実際に歩き、みなさんが住む地域で、ハザードマップではわからない危険箇所などを調査しましょう。

フィールドワークは小学生のときにも経験していましたが、中学生になると、さらに自分たちで考えて、自主的に行動します。



今まで危険な場所って意識してなかったな。



かおる

うちのおばあちゃんは車いすで生活しているから、避難は大変だな。



みどり



① 避難誘導標識



① コンビニなどにはってあるシール

まずは自力で避難するために

災害時に、校区を避難する場合、事前に危険なところがないか確かめておくことが大切です。

ハザードマップで示された危険箇所以外に、地域の避難経路に地震で崩れそうな塀や、豪雨によって通れなくなりそうな道、大規模火災が想定される住宅密集地などがないかを、くまなく調査しましょう。



① 震災で崩れた壁



① 盛り上がるマンホール



① 崩壊しているJR六甲道駅



① 住宅密集地での大火災

避難行動要支援者の視点で

避難行動要支援者とは、高齢者・病気や障害のある方・乳幼児・妊産婦など、災害時に自力で避難行動が困難な人のことをいいます。

今回のフィールドワークでは、このような避難行動要支援者が避難することも想定し、危険箇所などを調査しましょう。



さあ、フィールドワークに出かけよう

ここでは、ハザードマップから、自宅がある地域をいくつかのエリアに区分し、グループごとにフィールドワークに出かける例を示します。

事前学習や役割分担の決定、地域の方にインタビューする内容や、調べる視点などについて、準備をしっかりと出かけてみましょう。



リーダーが2人なら心強いし、判断に困ったときにも2人で協力し合えるね。

ひかる



今回のフィールドワークには、自分がチェックする避難経路の、より詳細な校区地図を用意することで、直接その地図に書きこむことができます。

さらに、白無地ラベルや、シールなどを持参しておく、より便利です。

持ち物リスト (例)

- 校区マップ
- 白無地ラベルや、シールなど
- インタビュー (質問) 用紙
- インタビュー (回答) メモ用紙
- 時計
- デジタルカメラ
- 筆記具 他

グループの役割分担と人数 (例)

① リーダー：2人

役割：グループのまとめ役

さまざまな事象や当日の活動を統括する。もし何かトラブルが起こったら、先生に連絡をする担当と、その場で班員をまとめる担当など、2人が協力して班をまとめていく。リーダーのうちの一人は、タイムキーパーを担当する。

② カメラ係：1人

役割：当日の写真撮影を行う。

今回は、危険箇所だけでなく、インタビューの様子などを撮るとよい。

※注意！

① 特に人や住居を撮影する際は、活動の趣旨を説明し、「写真を撮っていいですか？」と撮影の許可について、必ず確認する。

② カメラはカメラ係が責任をもって管理する。(ほかのメンバーには持たせない！撮らせない！)

③ インタビュー係：1～2人

役割：近所の方や出会った方に危険だと思う所などについて質問する。

④ 記録係：1～2人

役割：インタビュー内容を記録したり、写真で許可がもらえなかった場所などを簡単に絵や図でメモしたり、しっかりと記録に残す。



ひなん 災害発生時の避難行動

地震と風水害を例に、災害が発生したときの避難行動について考えてみましょう。



災害発生時の情報

災害が発生したときの状況を知る方法として、次のようなものがあります。

- テレビ ● ラジオ (FMうじ88.8MHz)
- 広報車 ● 消防車
- 宇治市ホームページ
- 緊急速報メール (エリアメール)
- 京都府防災・防犯情報メール

流言とデマ

普段よく使う「噂」と似た言葉に「流言」と「デマ」があります。災害時にはこれらが発生することがあります。

● 流言

人々の何気ない会話にふくまれる情報が、真実であるかどうか不明確なまま広がっていくもの。

● デマ

だれかがわざと真実でない情報を流し、それが広まっていくもの。

大きな災害が発生すると、正しい情報が伝わりにくくなります。ただでさえ被災者は精神的に不安定です。そんな中、SNSなどで伝わってきた流言やデマを信じこむと大パニックになります。災害時こそ冷静な判断が大切になります。

災害発生時、みなさんが自宅にいるとは限りません。

学校・繁華街・駅・電車内・映画館・地下街・エレベーター内など、さまざまな場所を想定しておく必要がありますね。



さまざまな災害が発生したそのとき、みなさんはどのような行動をとればいいのでしょうか。

ここでは、宇治で起こりうる可能性の高い地震と風水害の避難行動について考えます。

地震編

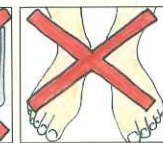
⚠ 災害発生直後の行動

- 緊急地震速報などで状況確認をします。
- 揺れが収まるまで待ちます。
- 火元の確認をします。
- 出口を確保します。
- ガラスや塀など、危険物から離れます。



⚠ 災害発生時のNG行動例

- ✗ 火をつける
ガスに引火して爆発する危険があります。
- ✗ ブレーカーを通电させる
火災を招く恐れがあります。
- ✗ 電気のスイッチを入れる
火災や爆発の恐れがあります。
- ✗ 裸足で歩く
ケガをする危険があります。(避難の際は靴を履きます。)
- ✗ 車で避難する
緊急車両の通行を妨げたり、大渋滞を引き起こしたりする恐れがあります。



⚠ 避難のタイミング

いつ避難するか、その判断によって、生死を左右するということを知っておきましょう。避難するタイミングは人任せにせず、ラジオやテレビ、スマートフォンなどから行政の情報を得て判断します。その際の注意点を以下にあげます。

● むやみに動く危険！

家の中からあわてて飛び出すと、落下物に当たって負傷する危険があります。まずは落ち着いて、家族と家の中を確認し、その後周辺で危険な物・建物がいないか、火災の状況などを確かめましょう。

● 自宅以外で安全ならその場にとどまる！

地震直後は駅周辺や道路も大変混雑し、大規模火災の発生や建物の倒壊など、二次災害に巻きこまれる可能性が大きくなります。安全が確認されたら、その場にとどまって様子を見ましょう。

地震のときとは異なり、集中豪雨や台風などは、事前にある程度情報をつかむことができます。気象情報を十分に確認し、避難行動をします。



気象情報について

小 危険度 大

注意報

自治体が発表する避難情報に注意し、雨・風の影響を受けやすい地域では、避難行動要支援者は早めの行動を心がけます。

警報

重大な災害が起こる恐れのあるときに発表され、該当区域で警戒を呼びかけます。自治体が発表する避難情報に注意し、必要に応じ、速やかに避難します。

特別警報

警報の発表規準をはるかにこえ、数十年に一度しかないような重大な災害の危険性が高まっている場合に発表されます。直ちに安全な場所へ移動する必要があります。



避難時の避難情報について

小 危険度 大

避難準備・

高齢者等避難開始

避難行動要支援者など、特に避難行動に時間を要する人は、避難を開始します。

避難行動要支援者の支援者は、支援を開始してください。

避難行動要支援者や、支援者以外の人も、家族との連絡や、非常用持出品の用意など、避難準備を始めてください。

避難勧告

避難勧告が発令された区域の人は、指定された避難所に避難します。

避難指示(緊急)

まだ避難していない人は、直ちに指定された避難所に避難します。

災害が発生する前に、浸水想定区域、土砂災害警戒区域の外にある指定緊急避難場所などの安全な場所へ避難します。逃げ遅れた場合は、建物の2階以上など、浸水や土砂が流れこむ恐れのない上層階や、屋内の少しでも安全な場所へ避難します。特に土石流が想定される場所では、危険なエリアから離れるか、近くの丈夫な建物の上階に避難します。



集中豪雨から身を守るには

- ・河川や用水路には、絶対に近づかない。
- ・地面より低い道は通らない。
- ・地下や半地下の場所からは避難する。
- ・冠水している道路はマンホールのふたが外れるなど、どこで転落などするか予測できないので、やむを得ず冠水箇所を通る際は、傘などで地面をさぐりながら移動する。

土砂災害の前兆

● 崖崩れ

崖のひび割れ、小石の落下、崖からのわき水、わき水が止まったりにごったりする、地鳴りが聞こえるなどの現象がある。



● 地滑り

地面のひび割れ・陥没、亀裂や段差の発生、崖や斜面から水が噴き出す。井戸や沢の水が濁る、地鳴り・山鳴りがする、樹木が傾くなどの現象がある。



● 土石流

山鳴りがする。急に川が濁り流木が混ざり始める。腐った土の臭いがする。立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえるなどの現象がある。



土砂災害警戒情報とは

大雨が続くと見こまれ、土砂災害発生危険度が非常に高まったときに、都道府県と気象庁が、共同で発表する防災情報です。

避難所ではどのような生活を送るのか、過去の災害での避難所生活の実態から考えましょう。



① 避難所の様子



② 給水へ長蛇の列

災害発生直後の避難所の様子と、少し時間が経った頃の様子とでは、避難所での課題が変わっていくんだね。



みどり

避難所生活で次々に起こる問題を乗り越えるには、正しい情報の共有や、徹底した話し合いが大切ですね。



ここでは過去の災害で、避難所生活を体験された方の手記から、避難所生活について考えていきましょう。

徹底した話し合いでトラブル解決

村川政徳さん（神戸市在住／被災当時50歳）

30度傾いて倒れる寸前の市営住宅から、まわりの住民と一緒に中学校の体育館に避難しました。避難所生活でいちばん困ったことは、うわさ話やペットを巡るトラブルでした。

被災者はみな、将来の生活不安や現状の不满などを抱えているため、避難者同士が疑心暗鬼になって陰湿な雰囲気になることもしばしば。例えば、ある所に市から助成金が出たといううわさが立ったときは大変でした。うわさ話に踊らされず、市から話があるまで待とうと、毎晩話し合いを持ちましたが、全員が納得するまで1~2カ月はかかりました。

また、犬の問題も困りました。飼い主にとってペットは家族同然ですが、犬が苦手な人もいますし、病気の人もいて、室内に置くことに反対だったのです。こちらでも徹底的に話し合いをして、最終的には屋外に鎖につないで飼うことで落ち着きました。

震災を体験して、問題を乗り越えるには、徹底的なコミュニケーションが必要であることを実感しました。（『東京防災』73ページより）

乳幼児と過ごした過酷な避難所生活

木村葵さん（東松島市在住／被災当時26歳）

5歳と6歳の息子、離乳食間近の6か月の娘とともに、避難所生活を1週間送りました。避難した中学校の体育館は指定避難所ではないため備蓄品はいっさいなく、身に着せたもので暖をとりました。また、娘は離乳食に切り替わるころで母乳はほとんど出ないため、翌日から配給品を離乳食代わりに食べさせました。男の子にとって避難所はストレスのたまる生活でした。娘がちょっとでも泣いたり、息子たちが声を上げたり走りまわると、あからさまに嫌な顔をされるので、ひたすらあやまってばかり。助けてくださる方もおられましたが、息子たちは欲求不満になり、私は精神的に追い詰められ、電気も水道も復旧していない自宅に戻ってようやくストレスから解放されました。娘たちと外出するときは避難用品などを持ち歩くなど考えたこともありませんでした。赤ちゃんのよだれかけやお尻や汚れた手などを拭く除菌シート、携帯ライトなどさえあれば、避難所生活でどれほど助かったことでしょうか。今は、これらを常に持ち歩くことはもちろん、防災意識を高めて暮らしています。

（『東京防災』76ページより）

グループで、震災発生直後に体育館に避難してきた人たちの避難所生活の写真から、だれにどんな物が必要か考えてみましょう。

避難所生活を考える【だれにどんな物が必要か】

〇〇〇〇年5月30日、午後3時30分、震度6強の地震が宇治を襲ったという設定で、震災発生直後の避難所をイメージしましょう。

- ① 模造紙にはられた中央の写真から、どんな人が避難しているのか意見を出し合い、書きこむ。
- ② 人ごとに、必要となる支援物資を考え、付せんを書いてはり付けていく。



- ③ どのような支援物資が必要か、グループで話し合う。
- ④ この写真には写っていないけれど、避難所生活を共にする可能性のある人や生き物などについて考え、さらに必要な支援物資や、さまざまな課題について考える。

猫や鳥などのペットはどうしたらいいんだろう。



ひかる

災害発生直後なら、何も持たずに避難してくる人も多いよね。



わかば

地震が起こった季節や時刻が異なると、避難してくる人や、必要なものも変わるよね。



かおる

このように、経験したことがないことについて想像することで、もしものときに活かすことができますね。



① 命そして「ふるさと宇治」を守るには？

ひなん 避難・避難所生活と復興

避難や避難所生活で、私たち中学生としてできることを考えるとともに、災害から復興への現状をみてみましょう。



防災の視点には、3つの視点がある。

1 自助の視点

これは、自分の（家族もふくむ）命は自分で守り、備える視点です。

2 共助の視点

近隣がたがいに助け合って地域で守り、備える視点です。（近年では互助ともいいます。）

3 公助の視点

市をはじめ、警察・消防やライフラインを支える電気やガスなどの各会社による応急・復旧対策活動などの視点です。

津波てんでんこ

三陸地方には、津波が来たら、取るものも取らず、てんでばらばらに逃げるといふ「てんでんこ」の言い伝えがあります。

東日本大震災で、津波により壊滅状態になった釜石市鶴住居地区。この地区にある釜石東中学校では、地震発生後、泣きじゃくる小学生の手を引き、高台に逃げるなど、中学生が率先して避難行動をしたことで知られています。この避難行動は、日頃の防災教育で「津波てんでんこ」の言い伝えとともに、「高台に逃げる」「想定にとらわれない」などの教えを守ったことによるものでした。

このほかに、各地の避難所でも、中学生が地域の担い手として活躍しました。



仙台 中学生ボランティア奮闘 避難所笑顔で切り盛り

東日本大震災避難所となった仙台市内の中学校で、在校生や卒業生がボランティアとして活躍している。炊き出しや水くみ、掃除など、避難所の運営を担う。避難所長は「子どもたちの笑顔が励みになっている」と話している。

炊き出し、水くみ、トイレ掃除 率先 被災者「頑張りに救われる」

「被災者の皆さん、ご苦労さまでせう。避難所に来てくださってありがとうございます。中学生が率先して炊き出しや水くみ、トイレ掃除などを行っています。被災者の皆さんは、中学生の頑張りを見て、救われるように感じています。」と、被災者の一人は話している。

被災者の皆さん、ご苦労さまでせう。避難所に来てくださってありがとうございます。中学生が率先して炊き出しや水くみ、トイレ掃除などを行っています。被災者の皆さんは、中学生の頑張りを見て、救われるように感じています。」と、被災者の一人は話している。

「子どもが元気になれば大人も元気になる」

東田せつ子さん（神戸市在住／被災当時58歳）

自宅は倒壊せず在宅避難でしたので、避難所での生活支援を行いました。避難所には、幼稚園から小学校の子どもが20～30人程度いて、しばらく親のもとでじっとしていましたが、そのうち走りまわるようになり、大人からうるさいとどなられるような状態でした。

被災3日目、先生が子どもの安否確認に来て、学校で子どもたちを遊ばせるようになりました。1～2時間学校に行って戻ってくると、子どもたちが明るくなっています。そのうち5～6年生の子どもたちが来訪者の名前を聞いたり、弁当などを配るようになりました。子どもが自ら役割を見つけ、人のために働くことで生き生きとなることで、大人も元気をもらいました。ただ、子どもの心のケアは必要です。身近な大人と一緒にいて、子どもの言うことをきちんと理解すると、子どもは心を落ち着かせます。震災発生時に子どもが生き残るには、親と子どもが「自分の身は自分で守る」と約束することが大切なのです。

（『東京防災』74ページより）



↑ 仮設住宅

テレビで、「仮設住宅には知り合いがいらないから、もう少し避難所にいます。」と、インタビューに答えている人がいたよ。



わかば

避難・避難所生活から復興へ

ここでは災害発生時から避難、避難所生活から被災者の復興の第一歩である仮設住宅や復興住宅への移行などの道を知り、復興について考えます。

災害発生時

命・財産の危機！

連絡と確認、そして避難行動

避難所生活

集団生活・生活支援物資の確保！

復興・復旧のための手続き、支援の受入

復興の第一歩

仮設住宅や復興住宅への移行、自宅への帰還

生活の再建、支援の受入、手続き



ひかる

物資や建物が整えられても、被災した悲しみや孤独はずっと続くよね。



みどり

仮設住宅に入居された方に対して、私たちにできることがあるね。



かおる

自分自身も被災して、「もし家族がばらばらになっていたら？」と思うと、いろいろな場面を想定しておくことが大切だって本当に感じるよね。

災害に備えて① ～自助の視点から～

いざ災害が起こったときに、少しでも冷静に対応できるよう、まずは自助の視点で、「備え」について考えてみましょう。



ローリングストック法とは



日常生活で、食料備蓄を取りこむという考え方です。普段から少し多めに食材、加工品を購入し、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食材を自宅に備蓄しておく方法をローリングストック法といいます。



自宅での避難と、避難所での生活では、用意しておく物はちがうのかな。

みどり



自分の部屋はどんな備えが必要なのかな。

かおる



日常的に備蓄しておくべき物と、非常持ち出し袋といった、目的に応じた備えが必要ですね。

災害は、できることなら最小限にとどめたいと、だれもが願っています。このように災害時、被害をゼロにすることは不可能だという前提に立ち、起こりうる被害をできるだけ少なくしようという防災の考え方を「減災」といいます。

ここでは、「減災」を、「自助」「共助」「公助」の順で考えます。

自助の視点

防災の基本は自助です。自分の命を自分で守ることにより、他者を助けることにつながります。

今やろう！4つの備え

1 物の備え

家族構成や、家庭の環境はそれぞれちがいます。いざというときに運べるだけの、最小限必要な物を備えることが大切です。

乾パンやヘッドライトなど、普段使わない物を特別に用意するだけでなく、日常備蓄（ローリングストック）という考え方が大切です。日頃利用している食料品や生活必需品は、災害時3日分くらいを目安に常備しておくといわれています。また、浴そうに水をためておくと、生活用水として使うことができます。



2-1 室内外の備え①

地震負傷者の30～50%は、家具類の転倒・落下・移動が原因だといわれています。その防止対策の基本はねじ止めです。



2-2 室内外の備え②



● 耐震化

阪神・淡路大震災の死者の約8割が建物倒壊による圧死です。1981年（昭和56年）5月31日に、「建築基準法施行令」が改正されました。それ以前に建築された建物は、大地震への安全性が低いといわれています。該当の建物の耐震診断を受ける場合は、補助制度が利用できます。

● 防火対策

出火を防止し、延焼を食い止めるため、消火器や住宅用火災警報器の設置などの備えが必要です。

● ライフラインの点検

電気、ガス、水道といったライフラインの元栓の場所や止め方、復旧の方法を知っていますか？ 日頃からこのような点についても確認しておくことが大切です。

3 コミュニケーションによる備え

家族で確認しよう！

災害発生時の出口の確保など、もしものときの、家族の役割分担を決めておきましょう。

また、外出中に帰宅困難になったり、登下校中にはなればなれになったりしたときに備えて、安否確認の方法（伝言ダイヤルなど）や集合場所を決めておくなど、日頃からコミュニケーションを図っておくことが大切です。



まずは自分で自宅の耐震性のチェックをしてみましょう。

- 1981年(昭和56年)5月31日以前の建築物
- 増築を2回以上行っている。
- 増築の際、壁や柱の一部を撤去している。
- 過去に床上・床下浸水、火災、地震などの大きな災害にあった。
- 埋め立て地、低湿地、造成地に建っている。
- 建物の基礎が鉄筋コンクリート以外である。
- 一面が窓の壁である。
- 和瓦、洋瓦など比較的重い屋根素材で、1階に壁が少ない。
- 建物の平面が、L字型やT型で、でこぼこの多い造りである。
- 大きな吹き抜けがある。
- 建具の立て付けの悪さや、柱や床の傾きなどを感じる。
- 壁にヒビが入っている。
- ベランダやバルコニーが破損している。

『東京防災』107ページより

まずは、自分の身を守るための自助の視点での備えが大切です。

今すぐにも、できることからやってみましょう。



災害に備えて②～共助・公助の視点から～

共助・公助の視点で、さまざまな備えについて知り、考えてみましょう。



防炎訓練

「共助」では、中学生が力になれることがたくさんありそうです。ご近所の人々と共に助け合うために何ができるのか、考えてみましょう。



消防団とは

市町村の、地域住民による消防組織のひとつで、火災をはじめとする、さまざまな災害から地域を守るために活動しています。

自主防災組織とは

地域の人々が、防災活動を行うために、自発的に活動を行うという意味で、市町村の消防組織に位置づけられている消防団とは異なります。

地域の救助・救護活動は、個々の住民がばらばらに行動しても効果が少ないことから、組織的な活動が必要となるため、各地で結成が進んでいます。

共助の視点

大震災で多くの人々が救助を求めるような事態になると警察や消防がすぐに救助にかけつけることができるとは限りません。大切なことは、地域（ご近所）の人々の助け合いです。ここでは共助について考えてみましょう。

共助の視点で！

地域の助け合いの大切さ

阪神・淡路大震災では、右のグラフにあるように、倒れた建物から救出された人の約6割が、「近所の人」によって救出されたという調査結果となっています。

大きな災害では、消防や警察自体が被害を受けていたり多くの要請があつたりして、災害現場に到着するまでに相当な時間がかかることがあります。

日頃から「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精神で活動する、「消防団」や「自主防災組織」についてもしっかり知っておきましょう。

人命救助した人の内訳



【1995年兵庫県南部地震による人的被害の聞き取り調査】

阪神・淡路大震災では・・・

震源地にほど近い淡路島の北淡町（当時）は、震度7を記録し、多くの人々が倒れた建物の下敷きになりました。

しかし、日頃から住民同士が、おたがいのことを熟知していたため、住民で組織された消防団は、がれきに埋もれている人の位置を正確に推定し、速やかな救助によって約300人もの人命を救いました。

消防、警察、自衛隊が本格的に機能する前の段階では、住民自らが主役となって救助活動を行うことが重要であることを示しています。

公助の視点

宇治市では、毎年「宇治市防災会議」などを開き、防災や減災の具体的な取り組みについて協議しています。



① 耐震工事<木幡中学校>



② 防災訓練



③ 雨水貯留施設工事<西宇治中学校>



④ 防災啓発の取り組み（防災関係団体の各種展示）

宇治市の主な防災対策の取り組み

- 「宇治市自主防災組織育成事業補助金」
- 避難行動要支援者支援事業
- 宇治市の防災対策
 - 災害対策本部 / 都市基盤の整備（雨水対策・耐震化） / 食料や資機材の整備 / 避難所の整備 / 防災啓発・ハザードマップ / 自主防災組織の育成 / 防災パトロールの実施 / 市役所内の防災対策の整備
- 防災パンフレットの作成「地震・災害に強いまちづくりを」
- 毎年防災訓練を実施
- 自主防災リーダーフォローアップ研修の実施
- 災害時における歯科医療や薬剤医療救護活動に関する協定（宇治徳洲会病院は京都府災害拠点病院に指定されている。）



日頃、ご近所の方と話す機会があるのかな。

わかば

うちのマンションに住む人でも、知らない人はたくさんいるな。

かおる



公助には、地方公共団体などの取り組みのほかに、警察・消防やライフラインを支える電気やガスなどの、各会社によるさまざまな支援活動もあります。



分散備蓄資材、集中備蓄資材とは

宇治市では、分散備蓄資材と集中備蓄資材を備蓄しています。

●分散備蓄資材

（一部の小学校などに備蓄）

簡易トイレ・マンホールトイレ・毛布・おむつ・簡易間仕切りなど

●集中備蓄資材

（市役所や一部の小学校で備蓄）

かんパン・アルファ米・粉ミルク・緊急水袋・救助器具セット・ロープ・バケツ・拡声器・テントなど

阪神・淡路大震災のとき、神戸市内では、消防車がたどり着くまで時間がかかり、さらに水道管の破裂で水が足りず、消火活動が進みませんでした。

公助を待っている間に、共助で助かる命があったのです。



課題を設定しよう

ここでは「『ふるさと宇治』を守るために、私たちにできること」を見つけるための課題を設定します。そこで、今まで学習してきたことをふり返り、何についてこれから調べていくか、グループで話し合しましょう。



©神戸市

地域の防災活動について、私たち中学生ができることを提案したいな。

コミュニケーションによる備えについて、もっと調べたいな。

なんかい南海トラフ地震について詳しく調べて、今から備えておきたいな。

たいしん耐震工事はどのくらい進んでいるんだろう。



共助について、私たちにもできることがありそうだね。

ひなんじょ避難所生活が続くと、どんな問題が起こるのかな。



名取市 東日本大震災アーカイブ宮城

もし災害が起こって、避難所生活をするようになったら、私たちが力になれることは何か、調べよう。

自助について、今すぐにでもできることがあるね。

安全に避難するために、私たちに今からできることは、どんなことなのか調べてみよう。

被災した生徒をいじめ始めるなんて絶対に許せない！

今でも、つなみ津波のことを思い出して、夜中に起きてしまう人もいるそうだよ。

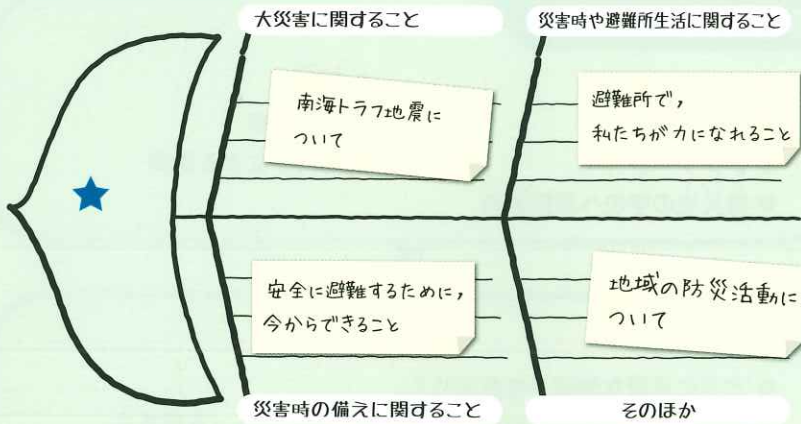
震災ボランティアの方から直接お話しが聞けるかな。



ここでは、今まで学習したことをふり返りながら、課題を設定していく様子を、2つのツールを活用した例で示しています。

1つめは、フィッシュボーンチャートを使った例です。

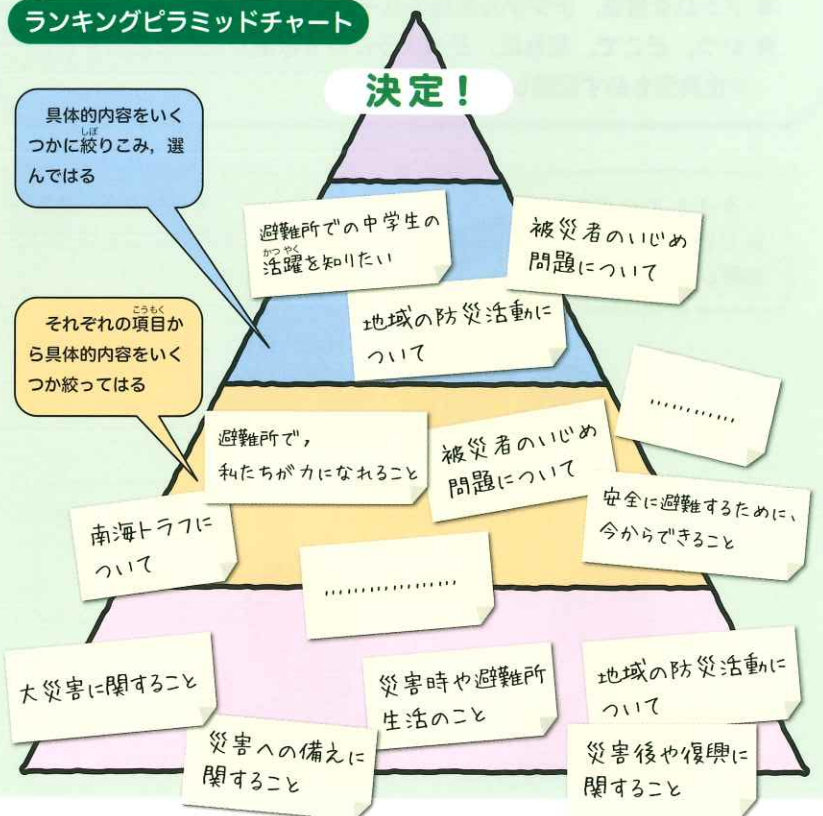
フィッシュボーンチャート



★ここでは、魚の頭には、最後、課題が決まったときに記入します。

2つめは、ランキングピラミッドチャートを使った例です。

ランキングピラミッドチャート



具体的内容をいくつか絞って、選んではる

それぞれの項目から具体的内容をいくつか絞ってはる

グループで意見を出し合い、考えをまとめるときには、さまざまな思考ツールを活用するとスムーズに話し合いができます。



ここでのチャートの活用方法について

●フィッシュボーンチャート

- ① 太骨には、大きく4つ、いままで学んできた内容を項目ごとに付せんに記入する。
- ② 小骨には、①に関わって、具体的に調べてみたい内容を付せんに書いてはる。
- ③ 話し合いをすすめ、小骨の内容から1つを選び、決定した内容を頭の部分(★)に書きこむ。

●ランキングピラミッドチャート

- ① 底辺に学習した内容の項目を書いた付せんをはる。
- ② ①の中から調べたい内容を、付せんに書いてはる。
- ③ ②をさらにいくつか絞ってはる。
- ④ ③であげた内容から選び、決定する。

6年生で使ったランキングピラミッドの使い方とは少しちがうね。



わかば

思考ツールって、同じ形でもいろいろな使い方ができるね。



ひかる

情報を収集するために

グループで決めた課題を解決するために必要な、より質の高い情報を収集するためには、どのようにすればよいのか考えましょう。また、集めた情報を効果的に保存する方法を考えましょう。



インターネットで情報を収集する方法

検索の方法は、大きく次の3つの方法があります。

1 サーチ（検索）エンジンを選び、キーワードを入力する。

キーワード例

《ここに注意!!》

- 一般的には、1つのタイトルにつき、約35文字以内で納まるようにします。
 - 「避難所」だけの入力より、このようにいくつかのワードを組み合わせることで、自分が得たい情報に行き着きやすくなります。
 - キーワード検索をすると、その検索までに、一番多く利用されたサイトがトップにあがってくるため、トップのサイトが必ずしも正しい情報とは限りません。
- 2** アドレスを直接入力する。
(例) <http://www.oooo.co.jp>
- 3** ホームページ上にリンクされたメニューから検索する。

インターネット検索は、常に次のことに気を付けよう!!

- ① 確かな情報かを判断する。(疑ってみることは大切)
- ② 著作権などに配慮する。(情報を収集する際は出典元やアドレスなどを必ず明記)
- ③ インターネットの検索だけに頼らず、調査活動などを取り入れ、より有効な情報を得る。

情報収集の方法・手段

- インターネット
- インタビュー
- アンケート
- 被災地の学校へ直接連絡
- 書籍
- 新聞記事
- 専門家による講演

情報の見極め

- 本当に正確な情報かを見極める。
- 自分たちの課題解決のためになる情報かどうか、見極める。
- いくつかの情報を比べ、より良質な情報を得る。

情報の保存

- アナログ情報、デジタル情報それぞれの保存方法を工夫する。
- いつ、どこで、だれに、どのようにして収集したかを記録する。
※出典元も必ず記録しておく。

タイトルタグからだけでは、判断は難しいね。



かおる

本当に必要な情報が見極めることが大切だね。



わかば

1つの手段だけだと偏った情報になるかも。



ひかる

知りたい情報を、どこから調べていこうかな。



みどり

ここでは、グループで情報収集をする際の流れの例として、まず、インターネットで検索する場合を示しています。

インターネットで検索

インターネットで紹介されていた内容について、さらに詳しく調べるために、次のような方法があります。

図書で調べる

- 学校図書館
 - 地域の図書館
 - ・ より専門的な内容の図書
 - ・ 統計資料
 - ・ 新聞
- など

大学の先生に聞く

- 【宇治にある大学】**
- 京都大学宇治キャンパス
 - ・ 地震のメカニズム
 - ・ 地震の予知など
 - 京都文教大学
 - ・ 学生のボランティア
 - ・ 地域の防災について
- など

宇治市や防災関係者に聞く

- 市役所危機管理担当
 - ボランティア団体
 - 社会福祉協議会
- など

被災地に直接問い合わせる

- 被災地の新聞社
 - 避難所になっていた学校
 - 被災地を管轄する役所
- など

集めた情報は、ルールを決めてファイリングする

- いつ、どこで、だれに、そして出典元などは、必ず記録する。

【アナログ情報】

記録した用紙、プリントアウトした情報。新聞の切り抜きなど



【デジタル情報】

さまざまなデータ（写真、グラフなど）



より正確で、詳しい情報を得るためには、インターネットだけでなく、いろいろな方法で情報を得て、さらに探究することが大切です。



アナログ情報のポイント

- アナログ情報は、新聞の切り抜きや書籍のコピーなど、大きさがさまざまです。大きなものはA4に縮小したり、切りそろえておいたりして、工夫しましょう。
- 集めた情報は、
 - ・ 集めた順（日付）
 - ・ あいうえお順 など
 カテゴリー別のルールを決めてファイリングするといいです。また、分野別に見出しを付けておくと、後で使いやすくなります。

デジタル情報のポイント

- デジタルデータは、まず、ファイルのタイトルの付け方のルールを決めましょう。
 - ・ 集めた順（日付）
 - ・ あいうえお順 など
 カテゴリー別のルールを決めてファイルを整理するといいです。
- グループで情報を収集する機会が多いため、情報の共有化（みんなで見られるように）を図るため、共通のフォルダを作成しましょう。

情報を収集しよう①

ここからは、自分たちが設定した課題の解決に向けて、どのように情報を収集していくのか、2つのグループを例にその方法を考えます。まず、1つ目のグループの情報収集の様子を見てみましょう。

小学校のときの経験を活かして、より有効な情報を集められるようしっかり計画を立てましょう。



このグループは、以前フィールドワークに出かけ、避難経路を調査したときに、「危険だ」と思った場所を見つけました。そこで、次のような課題を設定しました。

狭くて、消防車が通れない道があったよね。

わかば



阪神・淡路大震災では、二次災害で大火災が発生したんだよね。

ひかる



今にも崩れそうなブロックの塀があったね。

かおる



お年寄りが多い地域で、屋間に災害が起こったらどうやって避難するのかな。

みどり



課題設定

「安全に避難できるようにするために、私たちが協力できることはないか」



インタビューに行くときは……

インタビューシートや筆記用具以外であれば便利なグッズは？

防災関係のインタビューの場合、その特性から、以下のグッズを準備しておくとう便利です。

- 校区地図
- ハザードマップ
- デジタルカメラなど
(とっさに映像で記録したいときなどに対応できる)
- 付せんや白無地ラベルなど
(マップやいただいた資料にはるなど、便利に使える)

そこで、自分たちの校区の防災対策の取り組みに詳しい、地域の自主防災組織の会長さんに取材をすることにしました。

まずは、取材をするにあたり、インタビューシートに聞きたい内容をまとめ、あらかじめお伝えしました。

インタビューシート

(6)月(1)日 7年1組 グループ(A)

インタビュー相手：(自主防災組織 会長)

場所：(地域コミュニティセンター) 時間：(14:00~16:00)

① 地域の自主防災会は、どのような人たちで構成されていますか。

② ①の会議では、どんなことを話し合われますか。

実際に、お話を聞きに行くと、自主防災組織の^{ひごろ}日頃の活動の様子や、防災訓練の内容など、地域防災の状況を聞くことができました。

また、お話を聞くなかで、実際にこの地域が、過去の^{じんたい}水害で甚大^{ひがい}な被害にあい、そのときに^{いっしょ}取り組まれたことを示す現場があるので、「今から一緒に見に行こう」ということになりました。

今回のインタビューの流れ

1 会長からのお話を聞く

あらかじめお渡ししていたインタビューシートをふまえたお話を、資料を用いて説明していただきました。

2 会長と共に現地取材を行う

1のお話のなかで、近くに「実物があるから見に行こう!」という提案をいただき、実際に写真を撮って記録に残すことができました。

3 地域コミュニティセンターへ戻って、新たに出た疑問や質問に答えていただく

実際に現地取材をして、新たに質問したいことをお聞きしました。

4 会長から、私たちへのお願いについて聞く

最後に会長が、私たち中学生に期待されていることや、お願いを聞きました。

この地域は、過去に甚大な水害が起こっているから、防災の意識がとても高いつて思ったよ。



かおる

最後に、会長さんが話しておられた、私たちへの期待に応えていきたいな。



わかば

昭和28年の災害で浸水の最高水位を示す表示がある小学校がありましたね。



想定浸水深とは

「ここは宇治川が氾濫すると、浸水深が5.0mまで達する可能性があります」といったように、地上何mまで水に浸かる可能性があるかを示すものです。

ここでは、「想定浸水深」を示す表示がある場所に向かい、現地調査を行いました。



情報を収集しよう②

自分たちが設定した課題の解決に向けて、どのように情報を収集していくのか、2つ目のグループの様子も見てみましょう。

過去の災害で、実際に中学生が活躍した様子を知りたいね。



わかば

まずは、インターネットで調べてみようよ。



かおる

被災地に行った人から直接話を聞けないかな。



みどり

中学生がどの災害で、どんな活躍をしたのかを調べよう。



ひかる

このグループは、避難所体験をしたり、避難所生活をされた方の手記を読んだりするなかで、次のような課題を設定しました。

課題設定

「もし災害が起これ、避難所生活をするようになったら、私たちが力になれることは何だろう」

そこで、まずインターネットで、「避難所 中学生 活躍」というキーワードで検索しました。多くのタイトルタグのなかから、次の3つについて、調べてみることにしました。

被災地における中高生の活躍が…
ujigakunet.com……

中高生が避難所運営を支えて…
www.abcde ……

「中学生が訓練どおりお年寄りを助けに…
https://……

必要なページをプリントアウトし、特に大切な内容にはアンダーラインを引き、「情報収集シート」にまとめます。プリントアウトした用紙は、カードやインデックスを活用して、内容ごとに、ファイリングしておきます。

●情報収集シートの例

情報収集シート		
7年(1)組(A)グループ 名前(源花子)		
	情報1	情報2
	熊本地震での中学生の活躍	東日本大震災で
検索日	5/23	6/1
トピック1	物資の運搬や避難者への食事の配膳を行う。	炊き出しや避難者へ
トピック2	子どもたちの頑張る姿が、被災者に勇気を与えている。	自宅で避難している
トピック3	お年寄りが多く、動ける人が限られていたので、「自分たち中学生が動かない」と思い、友だちを誘って自主的に配給をはじめた。	この取り組みがまとめて
URL・出典先など	www.abcde……	ujigakunet.com……

また、宇治市在住で数々のボランティア活動に参加された方を講師として学校に招き、より有効な情報を収集することにしました。

講演の流れ

事前

講演者へ質問したいことをまとめ、「質問シート」を先生に渡す。

事前

「質問シート」が講演者に届き、講演者が講演内容を準備

講演当日

講演を聞き、「講演記録シート」に記入し、新たに思いついた質問や疑問があればインタビューをする。

講演記録シート

講演テーマ「ボランティア」に参加して

7年(1)組(A)グループ 名前(宇治 太郎)

①東日本大震災で

講演者より：なるべくしゃべらず黙々とボランティア活動をした。

→感じたこと 悲しみや苦しさでふさぎこんだ心には、ボランティアが踏みこめないつらさがある。

②熊本地震で

講演者より：ボランティアが家のリフォームまで依頼された。

→感じたこと 被災者は、「待ってられない」という心理になりがちなのかと感じた。

③ボランティアの悩み

講演者より：ボランティアとしてどこまで手伝えば良いか、考えさせられた。
ボランティアはボランティアではない。

→感じたこと 普段から、地域の人と顔の見える関係をつくることが何より大切だ。

講演者より

ここには、講演者の話について、特に印象に残った内容やキーワードを記入する。

→感じたこと

ここには、特に印象に残った内容やキーワードに対する自分の意見や感じたことを記入する。

質問シート

講演者に聞きたいこと

7年1組 Aグループ

- ①中学生が、被災地や避難所で活躍する様子を実際に見られたか。
- ②見られたなら、どんな状況でしたか。
- ③ボランティア活動で、特に苦勞されたことは何ですか。
- ④ボランティア活動をして、良かったことは何ですか。



ここでは、講演を聞きながら、「講演記録シート」に残った内容や、大切だと思ったことを記録しておきます。単に感想文を書くより、後の整理・分析に役立ちます。

講演では、被災者の方の心に寄り添うことの難しさを感じたよ。



ひかる

ボランティアとしてできることと、ご近所だからこそできることがあるんだと思った。



みどり

整理・^{ぶん せき}分析をしよう

これまで収集した情報を整理・分析する方法を、先の2グループを例に考えてみましょう。

自主防災組織の会長さんにお話を聞きに行ったAグループは、分類するという思考スキル（見方・考え方）で、整理・分析することにしました。

いただいた資料や、インタビューの回答から、大切だと思ったキーワードを1人最低3枚ずつ付せんにも書き出していきんだね。



ひかる

いっぱい大切な言葉があったから、3枚以上書いてもいいよね。



わかば

そうですね。付せんには、できるだけ短い言葉で書きましょう。たくさん思い付く場合は何枚も書いていいですよ。



かおる

小学校のときもやったよね。ステップ2では、ステップ1で自由にはり付けた付せんを分類していきんだったね。

このステップ2が重要です。どの分野（カテゴリー）で分類するのか、十分に話し合ってください。このツールを活用する意味があるのです。



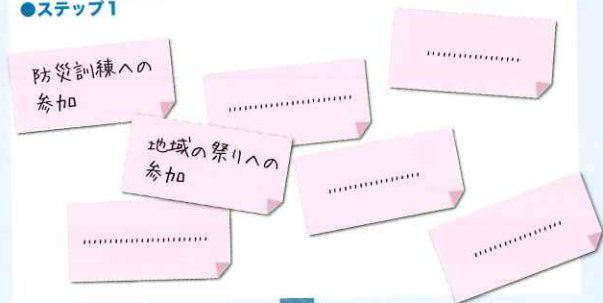
4つのカテゴリーに共通する大切なことに気付いたよ。



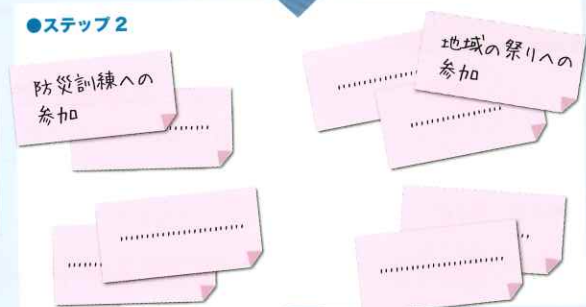
みどり

KJ法的な手法を活用した例

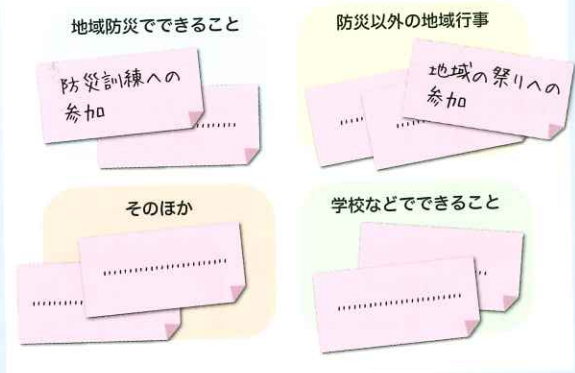
●ステップ1



●ステップ2



●ステップ3



インターネットで調べた後に、ボランティアに参加された方を講師に招いてお話を聞いたBグループは、「もしも〇〇だったら・・・」といった見通すという思考スキルで、整理・分析することにしました。



わかば

「もし〇〇しなかったら？」と仮定するとおもしろくないかな。



ひかる

それならキャンディーチャートを使ったらどうかな。



そうですね。キャンディーチャートは、
①「もし〇〇したら・・・」
②「△△だから」
③「こうなる」
と考える流れが見えるチャートですね。
「もし〇〇したら・・・」を「もし〇〇しなかったら？」と逆説で考える場合にも使えますね。

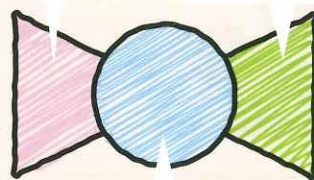


キャンディーチャートとは

仮定に基づいて結果を見通したり、推論したりするような思考スキルを可視化（見える化）するときに使えます。

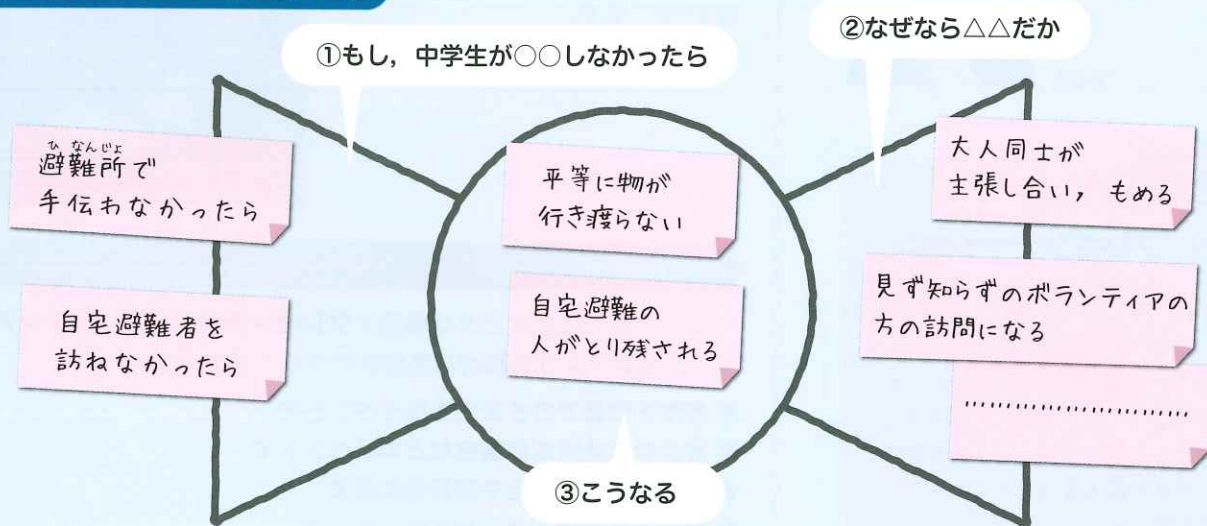
①「もし〇〇したら・・・」

②「△△だから」



③「こうなる」

キャンディーチャートを活用した例



整理・分析してみると、私たちが日頃からどういふことを大切にしているか、すごく考えるな。



かおる

もしも災害が起ころうとしても、乗り越えて生きていけるように、今からできることを見つけることができたよ。

みどり

このあほかのグループの整理・分析の結果などを交流し合います。新しい発見や共感できることがきっとあるはずですよ。



工夫して発信しよう

ここでは、「私たち中学生にできること」について整理・分析した内容について、発信する場を紹介しします。

小学生のときも、
いろいろな方法で発表したよね。



みどり

ちがうグループや
ほかのクラスの発表
を見ると、いろいろ
な発見があるな。



かおる

いつ起こるかわからない災害に備え、みなさんが今後実践していききたい内容は、ぜひ多くの方に伝えていきましょう。特に、地域の方をはじめ、校外に発信することで、防災の意識が高まり、災害に強い「ふるさと宇治」をつくる第一歩となるでしょう。

校内での発信

- 各学級でのプレゼンテーション
- 参観日でのプレゼンテーション
- 学校のHPに代表作品を掲載
- 文化発表会などでのパネル展示などがあります。



校外での発信

以下のようなさまざまな場所でプレゼンテーションやデモンストレーションにより実践的な発信を行うことができます。

- 各中学校区でのさまざまなイベントで
- 青少年健全育成協議会などのイベントで
- 福祉委員会の総会や研修会などで
- 地域にあるデイサービスセンターなどであります。

宇治学
Keywordプレゼンテーション
とは

情報を伝える手段のことをいいます。この場合、小学校から経験してきたツールに加え、パワーポイントや動画を使った方法などもあります。いずれも相手にわかりやすく伝えるコミュニケーションの力が大切です。

デモンストレーションとは

主に、「実演」という意味で、この場合は、実際に地域の方と一緒に避難訓練を行ったり、避難所生活の炊き出しを行ったり、自分たちができることを実演で発信することです。

学習のまとめをしよう

学習のふり返りは、これからも学び続けるために、とても大切です。



「命『ふるさと宇治』を守る」の学習で学んだことや、さらに知りたいことなどを整理して、学習のふり返りをしましょう。

7年 「命『ふるさと宇治』を守る」～私たち中学生としてできること～

宇治学 ふり返りシート

7年()組(宇治太郎)

1 自分が追究した課題を書きましょう。

地震じしんが起きたとき、地域の人たちみんなが安全に避難たいなんするために、私たちができること

グループで考えた場合はグループの課題を書きます。

2 この学習での自分の学習の進め方について、自己評価をしましょう。

[評価 … ◎ よくできた / ○ できた / △ あまりできなかった]

	項目	評価
1	自分で追究したい課題や調べたいことを見つけることができた。	○
2	追究したい課題を意識しながら、適切に情報を集めることができた。	◎
3	集めた情報を整理・分析し、課題の解決にせまることができた。	○

「自己評価」は、ほかの人と比べるのではなく、自分が頑張ったと思ったら、◎や○を付けます。

この防災の学習全体についての気づきを、簡条書きで記入します。

また、ほかのグループの様子や発表を聞いて、考えたことを書きます。

3 学習を通して「防災のことについて」考えたことを、簡条書きかんじょうで書きましょう。

○ …
○ …
○ …

4 学習を通して見つけた新たな課題を書きましょう。

「新たな課題」は、自分がもっと調べたいと思ったことなどを書きます。

5 自分たちに何ができるかを考えて書きましょう。

苦しみを乗り越え 感謝の気持ちを力に

前進し続けるスケーター 羽生 結弦 選手

氷に触れ、リンクに「感謝の気持ち」を表しています。



©Sunao Noto

リンクイン、リンクアウトの際は必ず一礼し、氷に触れて感謝の気持ちを表す。表彰台ではほかのメダリストに対し、一步下がって必ずそのスケーターに身体を向け、惜しめない拍手を贈る。金メダリストになっても、整氷作業を自ら買って出る…

今やトップスケーターの羽生結弦選手ですが、その美しいジャンプやスケートはもちろんのこと、このような感謝の気持ちや思いやりに満ちた立ちふる舞いは、国内外を問わず多くの人々の心を捉えてやみません。

そんな彼があの日、あのをときをどう乗り越え、どのように自分と向き合ってきたのかを知り、みなさんが今、そしてこれから前へ進んでいくために、大切なことについて考えてみましょう。

「生きていくだけで精一杯、スケートは、もうできないんじゃないか」

まさに飛ぶ鳥を落とす勢いで、スケーターとしての成長を続けていた羽生選手は、高校生になるとシニアへ移行した。するとすぐに4回転トゥループを成功させるなど、シニア初年度の活躍ぶりに、だれもが将来を有望視していた。

そんな矢先、あの大地震に見舞われることをだれが予測しただろうか。

2011年3月11日14時46分、マグニチュード9.0の大地震が東日本を襲った。そのとき高校1年生だった羽生選手は、仙台のホームリンクで練習中だった。氷は波打ち、地面が押し上げられる。ドアというドアはバンバンと音を立てて開き、リンクの壁が大きく崩れた。とてつもない恐怖心に襲われるなか、羽生選手が半袖の練習着にスケート靴姿で四つんばいになってリンクの外へ逃げ出すと、外は雪が降っていた。

ライフラインも途絶え、地元の小学校の体育館で避難所生活を余儀なくされた彼は、畳2畳のスペースに家族4人、1枚の毛布を掛けて固まって寝た。

その後徐々に津波の甚大な被害状況が伝えられると、「生きていくだけで精一杯、スケートは、もうできないんじゃないか」ということしか頭に浮かばなかった。明日がどうなるかわからない、とてつもなく大きな不安に、ただただ避難所の天井を見つめていた彼だった。

表彰台で、となりの選手に向けて拍手を贈っています。



©Sunao Noto

試合後、整氷作業を自ら手伝っています。



©Sunao Noto

「すこしでも力になれば… ぼくができることはスケートで伝えること」

日頃から、羽生選手は自分が跳ぶ瞬間のフォームを3D画像のようにイメージする。そのため、発災時の光景も全てははっきりと記憶に残っていた。当時彼は「目を閉じるとあの光景が夢にでてきてしまうので、目を閉じたくなくて、天井ばかり見ていました。とにかく怖かったです。」と語っている。

そんな中、他府県のコーチの方々から「結弦の練習場所は大いじょうぶか。」と連絡が入る。さらに国内外を問わず数々のスケーターからも応援のメッセージが届き、そこにアイスショーのオファーが入った。被災地神戸での、東日本大震災復興支援のためのチャリティ演技会だ。このオファーが、彼の気持ちを動かした。

「ぼくはこんなにも多くの方に支えられているんだ。」「震災のせいで頑張れなかったと思われたくはない。」「少しでも見てくださる方の力になれるのなら…今ぼくが頑張れることはスケートしかないんだ。」そんな気持ちを抱いた彼は、支えてくださる方々に、感謝の気持ちをスケートで伝えるという強い思いで、この神戸での出演を決意したのだ。

ここで彼が滑ったプログラムは「白鳥の湖」だった。この曲で白鳥と化した彼は、震災直後の恐怖心から、生きていくだけで精一杯の日々、そしてスケートを滑ろうと決心するまでの心の移り変わりを、全身全霊で表現した。彼がフィニッシュのポーズをきめたその瞬間、大歓声とともに起こるスタンディングオベーション、割れんばかりの拍手、そして涙を流す人々…客席のこの感動の渦に、羽生選手もあふれそうになる涙をこらえていた。

この演技会は、東日本大震災の被災地に届けるとともに



④ 2011年（平成23年）4月 東日本大震災チャリティー演技会での演技（神戸にて）

に、阪神・淡路大震災から15年以上経っても心の傷が癒えない人々に大きな勇気や希望を与えた。彼自身も「スケートを一生懸命滑る姿を見もらうことで、



④ 2014年（平成26年）2月 ソチ五輪 団体戦SP・個人戦共に1位で、日本男子初（アジア初）の金メダル獲得

これから復興していくときの勇気になれば…責任感やプレッシャーも、ぼくにとっては大きな力です。」と語った。

この演技会を皮切りに、2011年10月のシーズンインまで、彼が出演したアイスショーは60公演にのぼる。一緒に出演する海外の有名スケーターに指導を仰ぐなど、アイスショーを新シーズンに向けての「練習の場」とする苦肉の策で乗り切ったのだ。

その後彼は、自分を信じる強い心でシーズンを突き進み、2014年2月、ソチオリンピックでフィギュアスケート日本男子初の金メダリストとなった。

金メダリストになってからも、彼は多くの壁を乗り越えていく。衝突事故や怪我など、さまざまな困難も全て自分の糧とし、常に前を向いて挑戦を続ける。そんな彼を支えているのは、紛れもなく「スケートができることへの感謝と喜び」だ。その後も全日本選手権大会、グランプリファイナル、世界選手権などで数々のメダルを獲得し、世界最高得点を次々と更新した。そしてついに、2018年2月、66年ぶりのオリンピック2連覇を果たした。これらの栄光は苦しみを乗り越え、感謝の気持ちを力に代えて練習を積んだ証である。

彼の思いがこめられたスケートは、これからも多くの人々に勇気や希望を与えていくにちがいない。



④ 2017年（平成29年）3月 世界選手権（1位）の表彰式で自己ベスト更新（FS 223,20点）

避難場所へ案内する標識や地図、避難所の標識がいろいろなところにあります。より分かりやすいものへと改善が進められています。その一例を示します。住んでいるところだけでなく、旅行で出かけたときなどにも、そこにある標識などがどんな意味を持っているか確認しておきましょう。

避難情報標識

洪水が発生したときの避難場所を示す案内図です。地震や津波など災害の種類によってちがうものになります。掲示されている場所（現在地）から、避難場所へ安全に避難するための情報がコンパクトに示されています。



避難誘導標識

避難場所へ誘導する標識です。避難場所を表す図記号、避難場所の方向を示す矢印、避難場所までの距離が示されています。また、この避難場所がどんな災害時に使えるのかを図記号と言葉で示され、外国語での説明もあります。そして、避難場所であることを明記し、その名称が書かれています。



避難場所情報標識

避難場所を示す標識です。この避難場所がどのような災害に適しているのかが、災害種別図記号で示されています。展望公園は、高潮や津波に限ったの避難場所であることを示しています。



編集後記

「宇治学副読本」を編集・発行するにあたって、宇治市をはじめ、全国各地の関係機関、関係諸団体、関係諸氏から資料や写真を提供していただきました。

多くの方々のご支援、ご協力に対し、紙面をもってお礼を申し上げます。

監修

(代表) 橋本 祥夫	京都文教大学臨床心理学部准教授
澤 達大	京都文教大学総合社会学部准教授
寺田 博幸	京都文教大学臨床心理学部教授
森 正美	京都文教大学総合社会学部教授
鵜飼 正樹	京都文教大学総合社会学部教授

執筆・編集

「宇治学」副読本編集委員会
宇治市教育研究員「宇治学」研究部

事務局

宇治市教育委員会 教育支援センター 一貫教育課

表紙の写真:宇治市防災訓練／北宇治中学校防災学習

「宇治学」副読本

第7学年 命 そして「ふるさと宇治」を守る (中学校第1学年) ～私たち中学生としてできること～

発行日 平成30年3月31日
発行 宇治市教育委員会
印刷 日本文教出版株式会社

本冊子掲載の写真・イラスト等についての無断複製・転載・複写等を禁じます。

市の宝木「ちゃの木」



市の木「もみじ(イロハモミジ)」



市の花「やまぶき」



市の鳥「カワセミ」



この本は、これからの宇治を担うみなさんへの期待をこめて作成しました。
みんなで大切に使いましょう。

No.